

40代だから、
気負いのない婚活

岸本悦子（仮名）さんは現在49歳。今の結婚生活は3度目になる。27歳を筆頭に3人の息子さんを育てたベテラン主婦なのにチャームिंगという言葉がぴったりの女性。

過去の回の離婚を乗り越えて、もう一度結婚を考えた理由に、「こちらも興味深々。40代で結婚となれば、「今さら人に合わせるの面倒」「出会いがない」など、言い訳は山ほどあり、なかなか勇気がでないもの。

「婚活を始めたキッカケは？」と聞くと「色々な人と出会えればいいと思って」と明るく答えてくれた。子ども達が独立した時に気楽さと同じ位、寂しさを感じたという。そこで、悦子さんの母親や息子さん達の後押しもあり、結婚相談所に登録。入会して3カ月、4人目のお見合いが今のご主人との出会いだった。

初めて顔を合わせたのは、お見合いの名所と言われる『新阪急ホテル』。1時間半ほど話し、お付き合いをしてもいいかなと思ったそう。しかし、初めてのデートで彼が3日後から持病の治療のために入院することを知らず、仲人の方も「このお見合いは破談だな」と感じたそう。

後のお見合いには、失敗談や腹立たしい出会いもあった。「でも、世の中にはそんな人もいるんですよ」と明るく話す悦子さんは、『婚活』を心から楽しんでた事が、こちらまで伝わってきた。

わかり合える
立ち位置だから

現在のご主人には、2人の息子さんがいる。3人の息子さんを育てた悦子さんにとって、子どもの話題に遠慮しないといけないようでは辛い。その点、彼らとお互いに子どもへの悩みを共有できる。そんな共通点が結婚を決意した大きなポイントでもあった。お互いが築きあげてきた環境を理解し、その気持ちを共有できる存在は心強い。

現在、結婚して4カ月。すでに何度となく夫婦喧嘩もしたという。お互いに遠慮なく言い合える人が近くにいることが、悦子さんが求めていた「人として普通の生活」だった。

困難はぶつかったから
考えればいい

結婚はしたかったけど、焦ってはいなかった。周囲の声に押されて登録した「結婚相談所」が小さな一歩の始まりだった。書類を記入した3カ月後には、想像もしていなかった幸



頑張らない婚活。婚活を楽しみましょう。
出会えてよかったこの人に...

40代からの
婚活のススメ

30歳後半～40歳を超えると一人であることがあたりまえになる毎日。でも、傍に誰かがいること、誰かと支え合って生きることの幸せって素直だと思いませんか。それは、あなたが動くことから始まります。

取材・文＝森 由宇

である。

ところが、おっとり優しい雰囲気の中にしっかり芯を持つ悦子さん。そんなちよとした情報の違いも彼にぶつけど。それに対して誠実に答える彼。その態度に、この人なら自分を大切にしてくれると思い結婚を決意した。その後色々なことがあり、ハッキリ言って「ほんのわずかな期間に起きた様々な行き違いは、仲人をも悩ませたというが、悦子さん本人は「そんなこともありませんよ」と運命に逆らわず、自分に向かってくる波を受け入れた。そして1ヶ月後には人生の転換期を迎えることになる。



老後生活を視野に入れて
「お互いに支え合いたい」

ご主人は59歳で、悦子さんとは再婚。失礼ながら「年齢やご主人の病気を考えた時、結婚生活に不安はなかったですか？」と聞いてみた。40代と50代の結婚となれば、当然「お互いの介護」も目前。この人の下の世話が出来ると思えなければ、結婚には踏み切れないものである。「介護は人として当然のことですものね」と悦子さん。

男性が年配の場合、「面倒を見てもらいたい」、女性の年齢が若いと「経済的に支えてもらいたい」という、一方的な甘えがどこかにあってもおかしくはない。しかし、悦子さんは何度も「人として、お互いに支え合う」という言葉を口にした。どちらか一方が頼りにするのはなく、お互いで支え合う。それが人として普通の幸せじゃないかな...と、静かに話す悦子さんは、自分を良く見せようとかの気負いを感じさせず、自然体で生きている女性として羨ましくも感じた。

要望は一つ
自分相応の幸せ

結婚相談所に登録する際には、相手に対しての要望を伝えなければならぬ。悦子さんの要望は「自分とは特別な人間じゃないから、普通の人でいい」。4人とお見合いをした中には、マナー的にNGの人とも出会った。「あのお見合いは勉強になりましたね」と笑う。婚活しようと決めて、そ



河内長野市在住 岸本悦子（仮名）さん

せな生活が始まるとは、ご本人が一番驚いていたのかもしれない。

あれこれ出来ない理由を並べる前に、まずは自分出来る範囲で小さな歩を踏み出してみたら、環境が変わるかも知れないですよ！悦子さんからの力強い言葉。どうしても40代での結婚、再婚となると躊躇してしまう。突然、相手が倒れたら...、自分に何か起きたら...、周囲の人達から理解が得られなかったら...。不安材料は考えればキリがない。「障害はあって当たり前。ぶつかったから考えれば良いんです」

取材のあと「今日は息子とデートなんです」と嬉しそうに出掛けに行った悦子さん。ご主人の治療ももうすぐ終わるとのこと。今後は夫婦で色々な所でデートがしたいと幸せそうに語ってくれた。

相談所の壁には、成婚記念として、結婚が決まった当時の悦子さんご主人の寄り添う写真が貼られていた。ほんの数ヶ月前とは思えないほど、今の悦子さんからは幸せオーラを感じる。

まだまだ40代。
まだまだイケる！



悦子さんの婚活日記



結婚相談所 レジェンデ
代表 岡崎 直人さん

今どきの婚活事情

今、再注目を浴びているのが、仲人さんによって男女の縁を繋ぐ「お見合い」。登録している会員は全員が「結婚」という目標を持ち、仲人さんはお見合いやデートに際しての服装マナーまでを指導する親代わり。当人の親からも相談しやすく、家族と家族を繋ぐ「結婚」という人生の一大イベントをトータルでサポート致します。

最近結婚に対して積極的な女性が多く、登録者の年齢層も20～80代と幅広い。初婚、再婚、シングルマザー・ファザー、親と同居...その人の環境や性格などを考慮して出会いを作ってくれる仲人との出会いは、まず自分の良さを見つけてくれる相談所に登録する事。相談所との相性が、自分の将来を左右する大切な縁の始まりです。

40代の結婚事情

自分も含めた40代へ言えば、バブルを経験しているせいか、今も

当時の感覚を色濃く残している人が多いように感じます。年収や学歴にこだわりを持っていたりして、現実の生活よりも結婚に夢を求めてしまいがち。夢を求めるのは悪いことではありませんが、今の経済状態や自分の状況を現実的に捉えられなくて、目の前にある幸せを見逃すのはもったいないですね。

成婚率の高さ
良い相談所？

婚活ブームに乗って、相談所や婚活サイトが氾濫し始め、競うように成婚率を謳う広告が並ぶ。成婚率には魅力を感じますが、本当に幸せな結婚がしたいなら検討すべきは成婚率ではなく、成婚後の離婚率の方ではないでしょうか。

成婚率を上げるのは、プロの手にかかれば実は簡単。それよりも、この先の人生を一緒に生活して行くに当たって、お互いの個性・相性を見極めて、幸せな生活が築ける出会いを提供してくれる相談所と出会う事が、幸せへの第1歩です。

取材協力
結婚相談所 レジェンデ
(マル進マーク取得済)
☎ 072-276-1122
大阪府堺市中区深井沢町 3324
FUKAIビル 4F (深井駅前)
http://www.legende.jp/